

# IMO「世界海の日」パラレルイベント (国際シンポジウム)

別紙①

## 趣 旨

- ・ 海事の教育及び訓練に関するIMOの取組の周知
- ・ 広く「海」に関わる諸問題の認識の深化、理解・関心の向上
- ・ 将来の海事の教育及び訓練、海洋人材育成のあり方の提案



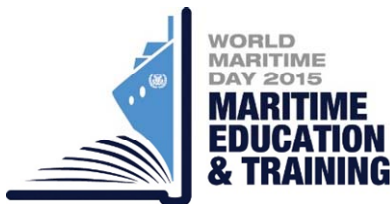
## プログラム(案)

7月20日(月・祝) 於:ザ・キャピトルホテル東急(東京)

1. 開会式 10:30~(予定)
- ・ 太田 昭宏 国土交通大臣 挨拶
  - ・ 関水 康司 IMO事務局長 挨拶
  - ・ 宮原 耕治 「海の日」特別行事実行委員会会長 挨拶

2. セッション 「海事の教育及び訓練」をテーマに4セッションを開催

- セッション1 海事教育・訓練に関するこれまでの取組
- セッション2 海事から海洋への広がり
- セッション3 次世代に海を親しませるための教育
- セッション4 将来の海事教育・訓練のあり方



主なスピーカー:

- フィリピン海事産業庁長官 マキシモ・メヒア氏
- 国際連合海事海洋法課長 ガブリエレ ゲッチェ=ヴァンリ女史
- IMO理事会議長 ジェフリー・ランツ氏 他

3. レセプション 19:00~(予定)
- ・ 太田 昭宏 国土交通大臣 挨拶
  - ・ 関水 康司 IMO事務局長 挨拶 他

7月21日(火) 於:ホテルニューグランド(横浜)

4. セッション 「海洋遺産を活用した教育」をテーマに、1セッションを開催

主なスピーカー:

- 在日本サンマリノ大使(在日外交団団長)マンリオ・カデロ氏 他

5. 閉会式 17:30~(予定)
- ・ 会議総括 (「横浜宣言」読み上げ)
  - ・ 次期開催国(トルコ)に西村副大臣より実施国旗を引継ぎ
  - ・ 西村副大臣 挨拶

○ 聴衆 国内外から350人程度が参加予定

(参考) ① 船上レセプション(7月19日(日)夕刻 横浜市主催により、氷川丸において開催)

② エクスカーション(7月21日(火)昼 横浜港(帆船・旧日本丸、練習船(大成丸ほか)見学))

## 【参考】海の日（国民の祝日：第20回）

### 趣旨

- ・7月の第3月曜日
- ・「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う日」として制定

### 経緯

- 明治9年に明治天皇が東北巡幸の帰途中、青森から灯台巡視船「明治丸」に乗船し、函館に渡海された後、7月20日に横浜港に安着されたという故事に由来し、昭和16年に「海の記念日」を制定。
- 平成7年に議員立法により祝日法が改正され、平成8年より「海の日」として祝日化。
- 平成15年に祝日法の改正により「海の日」が7月の第3月曜日となる。
- 平成27年に第20回目の「海の日」を迎える。



## 【参考】IMO「世界海の日パラレルイベント」

- 「世界海の日」は、海の安全や海洋環境の重要性についての社会の認識を高めるため、国際海事機関(IMO)が設定(毎年9月最終週。2015年は9月24日。)。毎年海事分野の重点政策となるテーマを定め、IMO本部(ロンドン)で祝賀行事及びシンポジウムを開催。
- 「世界海の日パラレルイベント」は、この「世界海の日」の政策テーマについて議論を深めるため、2005年より、毎年加盟国から開催国を選定し、IMOとの共催により国際シンポジウム等を開催。
- 2015年の「世界海の日パラレルイベント」は、「海事教育及び訓練(Maritime Education and Training)」をテーマとして、我が国で開催(7月20日及び21日)。



2015年「世界海の日」ロゴマーク